

市民の願い実現 中学校給食実施へ！

2014年基本設計 ⇨ 2015年実施設計 ⇨ 2016年工事 ⇨ 2017年4月中学校給食開始



新給食センター建設予定地（福東通り）

2月18日、福生市教育委員会は、福東地域に建設する災害時対応の給食センターで、小学校給食だけでなく、中学校給食も実施することを決めました。これを受けて市長も、2月25日の施政方針演説で中学校給食の実施を表明しました。

長年にわたる市民の願いが実現することになり、本当に良かったと思います。日本共産党は、議会の度に、一般質問で中学校給食の実施を求めて発言してきましたので、喜びもひとしおです。署名や学習会など、多くの市民にご協力いただきましたことに心から感謝いたします。今後も、より良い学校給食を目指して、引き続き取り組んでまいります。

中学校給食をめぐる経過

- ◇1988年 中学校給食実施を求める署名が市民団体（中学校給食を願う会）より市長に提出される。
- ◇1989年 中学校給食審議会を設置し、「中学校給食の是非について」諮問。
- ◇1991年 中学校給食審議会は「自校直営方式による完全給食」を答申。
しかし、教育委員会は、「当面、中学校給食の実施を見送る」ことを決定。
- ◇1996年 希望者に「デリバリーランチ（弁当販売方式）」を開始。
- ◇2002年 不評により中止。
- ◇2004年 一中で「弁当併用ランチルーム方式」を開始。2005年に二中、2006年に三中で開始。



給食調理員さんによる
小学校での食育教育

日本共産党が毎議会の一般質問で中学校給食実施を求める	2011年	6月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校ランチは他市の給食に比べて一食100円ほど高く、家庭の負担が重い。 ・就学援助受給者（全中学生の28%）給食なら給食費免除になる。 ・食育基本法で、学校給食が果たす食育教育の重要性が指摘されている。
		9月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・改正された学校給食法で、学校設置者に学校給食実施が義務づけられている。 ・就学援助家庭には月7000円にもなる高額な中学校ランチの利用は困難である。 ・小学校給食センター建て替えの今こそ、中学校給食にも対応できる施設の建設を。
		12月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームを利用する26.6%の生徒には一人年間13万円もの市税を使いながら、73.4%の弁当持参の生徒には1円の支援もない現在の方式は税の使い方が不公平。
	2012年	3月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・福生市の子どもと子育て世代の減少傾向を食い止めるためにも中学校給食の実施を。 ・福生市に子どもと子育て世代を増やし定住してもらうために、学校給食の無料化を。
		6月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の市長選挙で、過去最高の得票となった西村票には、中学校給食への市民の期待が込められている。
		9月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・一部生徒対象の「昼食対策」ではなく、法に従い、全員対象の学校給食で公的責任を果たすべき。 ・現行のランチルームを生かして、自校直営方式の中学校給食を実施すべき。
	2013年	12月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・今議会で全ての会派が中学校給食実施の検討を求めるに至った。市民の世論である。今こそ、決断を。
		3月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・福生の中学生は朝食欠食率が高い（都調査）。栄養バランスのとれた学校給食と食育教育が喫緊の課題。
		6月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・今こそ、中学校給食実施の検討開始を。→教育長より、中学校給食実施についての検討を開始する旨の表明。
		9月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食についての児童、保護者アンケート結果を踏まえ、食育教育の中心的役割を果たす中学校給食を。

- ◇2012年12月、市民団体（中学校給食の実施を求める会 他一団体）中学校給食の実施を求める署名提出。
- ◇2013年6月議会、教育長より、中学校給食実施についての検討を開始する旨の表明。
- ◇2013年11月、中学校給食実施の検討にあたっての要望書提出。
- ◇2014年2月、教育委員会定例会で中学校給食実施を決定し、市長に報告。
- ◇2014年3月議会、市長が施政方針で中学校給食実施を表明。



署名へのご協力ありがとうございました



日本共産党の奥富喜一市議、池田公三市議は、2つの市民団体（中学校給食の実施を求める会、基地の街から教育・福祉の街に…みんなの会）と協力して、中学校給食の実施を求める署名に取り組んできました。



「えっ、まだ給食じゃないんですか？ 20年も前にも署名したんだけどね。」
「本当に困っています。一日も早く実現させて下さい。」
「この子が中学生になる前に間に合わせてください。」
「お昼はクラスみんな一緒に食べたい。2つに分かれるのはイヤ。」



多くの市民の方々から切実な声や激励をいただけてまいりました。そうした声の一つ一つが市を動かしたのだと思います。ご協力本当にありがとうございました。



市長（代理）に署名を提出



東京で一番の中学校給食を目指して

新しい給食センターは、小中学校 10 校の学校給食をまかなうだけでなく、東京直下地震などの災害時対応施設としての機能も合わせ持つ画期的なものになる予定です。建設場所は、福東通りの広い国有地です。東京 23 区 26 市の中で、最後にスタートする福生市の中学校給食ですから、東京で一番優れた内容にしたいものです。日本共産党として、これからも以下の市民要望の実現に取り組んでまいります。

- ◇新しい給食センターでは、食育教育の中心的役割を果たせる施設・設備を備えること。
- ◇安心安全で栄養バランスのとれた、おいしい給食を。食物アレルギーにも対応を。
- ◇安全確認のため、毎日一食分を丸ごと測定できる放射線測定器を。
- ◇学年ごとの交流給食など、ランチルームの積極的活用を。
- ◇福生市の直営方式とすること。



教育長に要望書を提出し、懇談。